

# 小中学生に無料学習講座

東京都内で特定非営利活動法人(NPO法人)などが無料または低料金で小中学生に学習指導する動きが相次いでいる。

## 先生はボランティア学生

学生ボランティアなどを活用し、寄付などで運営費を捻出(ねんしゅつ)する。所得の伸び悩みで子供を学習塾に行かせることが難しい家庭もあり、塾に通う子供との学力格差を懸念する声が広がっている。珍しい試みとして注目を集めそうだ。

## 企業の寄付、運営費に

NPO法人、ラーニングフォーオール(東京・渋谷、松田悠介代表理事)は11、12月の毎週土曜日、葛飾区内で塾通いなどが難しい区内小中学生を対象に学習指導を実施する。講師はボランティアの学生で、無料で主要教科を教える。

ラーニングフォーオールは今春に設立され、小中学生に無料で学習指導する「寺子屋プロジェクト」を運営している。メンバーは学生、社会人ら約50人。8月には八王子市内の小中学生に数学、英語などを教えた。「教育格差の解消」を掲げ、賛同してくれた人にボランティアや寄付を募る。ボランティアの教師には交通費しか支給しない。1口数万円程度の

会場はパソコン教室などを展開するIT(情報技術)支援サービスのスリープログラブが提供。キッズドアは独立行政法人などから助成金を受け、イベント開催などで協力している企業からの賛助金も運営に充てる。

料開放し、子供たちが宿題などができるようにしている。取り組みは地域限定で規模も限られており、資金面での課題もある。塾に通う子供と通えない子供の学力格差については行政も対策に乗り出している。東京都は中3

生対象に塾の費用などを無利子で貸す「チャレンジ支援貸付事業」を2008年度から開始。限度額は20万円で、一定の所得以下の世帯の子供が対象。高校に入学したら返済が免除される。今年9月までで約3800人が利用した。

## 都内NPO、受験指導も

NPO法人のキッズドア(東京・中央、渡辺由美子理事長)も「タダゼミ」という無料講座を開催している。都立高を目指す中3生に無料で大学生が受験指導をする。東京・西新宿のビル内で、月2回の個別指導を開いている。

地域での取り組みも注目を集める。大田区東矢口の青果店「気まぐれ八百屋だんだん」(近藤博子店長)は店の一角を使い、土曜の夕方に小中学生らに数学などを指導する。1時間500円で、光熱費や講師の謝礼などに充てる。火、木曜は無



ラーニングフォーオールは8月、八王子で学習指導を行った

ない。1口数万円程度の